

# OPERA RED

Shuko Terada



「オレンジに灯る影 - no.3」  
本、双眼鏡、ガラス、鏡、プラスチック、他  
18.8×23.0×h16.4 2011年



「中空宙ー低空の中」  
絵具 タイル 他 サイズ可変 2003年

## 「寺田就子 | OPERA RED」

Shuko TERADA solo exhibition "OPERA RED"

- 会期: 2016年11月19日(土)~12月17日(土)
- 開廊時間: 12:00-18:30
- 休廊日: 月火曜日、祝日
- 会場: GALLERY CAPTION  
〒500-8846 岐阜市玉姓町3-12 伊藤倉庫 tel 058-265-2336 <http://www.gallerycaption.com/>
- アクセス: JR岐阜駅「北口」、名鉄岐阜駅より徒歩5分
- 同時開催: セカンドスペースのfrontでも作品をご紹介します。  
front 岐阜市金宝町2-9-1 (13:00- 19:00 木・土日のみオープン \*ただし12/8, 10, 11はお休み)  
tel 058-263-7161 <http://front-caption.blogspot.jp/>
- お問い合わせ: 担当/ 山口 (月火曜日をのぞく 12:00-18:30) tel 058-265-2336 [caption@mbe.nifty.com](mailto:caption@mbe.nifty.com)

## 寺田就子 | TERADA Shuko

1973 大阪府生まれ  
1997 京都市立芸術大学美術学部美術学科版画専攻卒業

### 「向かいあう光り 浮かびあがる影」

ガラス製品、プラスチック製品、アクリル板、鏡、布、電球、他、  
ミクストメディア・インスタレーション 2016年  
(あいちトリエンナーレ2016/栄会場、旧明治屋ビル)



### 〈個展〉

- 1999 光の透きま (ギャラリー16/ 京都)
- 2000 中空宙 (ギャラリー16/ 京都)
- 2001 中空宙ー 空浮 (ギャラリー16/ 京都)
- 2003 中空宙ー 低空の中 (ギャラリー16/ 京都)  
中空宙ー orangeade (ギャラリー16/ 京都)
- 2004 ㊦㊧㊨ (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2005 中空宙ー 10年後の記憶 (ギャラリー16/ 京都)  
中空宙ー 思い出す角度 (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2006 空をのぞく (ギャラリー16/ 京都)  
澄んだにごり (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2007 ひとときの虹 (ギャラリー16/ 京都)  
終わりの扉 (ギャラリーキャプション / 岐阜)
- 2008 窓ごしの空色 (iThohen/ 大阪)
- 2009 とろける光り (ギャラリー編/ 大阪)  
水たまりにみた波の音 (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2011 曇り日の影 (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2012 影の隙間に眩う (ギャラリー16/ 京都)  
blue moment (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2013 雨滴のレンズ (ギャラリーキャプション/ 岐阜)  
ほのめく音色 (ギャラリーあしやシュレ/ 兵庫)
- 2014 あいまのいろざし (ギャラリー16/ 京都)

### 〈主なグループ展〉

- 1995 Tabula rasa (京都市四条ギャラリー)
- 1996 全国大学版画展 (町田市立国際版画美術館/ 東京)
- 2000 IKIRO CAFE (ギャラリー16/ 京都)
- 2001 差の地図 (ギャラリー16/ 京都)  
SPACE 0~∞ 宇宙 (cafe etw/ 京都)
- 2002 THE BOOK/ 観賞週間 (ギャラリー16/ 京都)
- 2003 christmas show 2003 (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2004 京都府美術工芸新鋭選抜展~2004 新しい波~ 〈優秀賞〉
- 2005 裏・アートマップ (京都芸術センター)
- 2006 ArtCourt Frontier 2006 (アートコートギャラリー/ 大阪)
- 2007 small-ness (Muromachi Art Court/ 京都)  
PARTY (LADS GALLERY/ 大阪)
- 2010 あいちアートの森-堀川プロジェクト (東陽倉庫テナントビル/ 名古屋)  
宇宙民藝 (AAS/ 京都)  
観○光 EXPO 2010(圓通寺/ 京都)
- 2011 通奏低音 (ギャラリーキャプション/ 岐阜)  
転置-Displacement (京都市立芸術大学ギャラリー)
- 2012 うつせみ (常懐荘/ 愛知)  
うたかた (アトラボあいち/ 名古屋)
- 2013 窓と物語 vol.2 (waitingroom/ 東京)
- 2015 篠原資明企画 超少女まぶさび宇宙-寺田就子:竹中美幸 (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2016 あいちトリエンナーレ2016 (栄会場、旧明治屋ビル/ 名古屋)

幼稚園のころ、初めて訪れた絵画教室で、  
自分専用の18色セットの新しいポスターカラーを与えられました。  
そして、その絵具の中から好きな色を選ぶようにと言われました。  
選んだ色はオペラレッド。  
何を描いたのかは記憶に残っていませんが、  
この色を選んだことは覚えています。  
これまで制作した作品には、  
素材として既製品を使用したものが多数あります。  
それらを改めて見つめ直し、  
自分が選んできた記憶を思い起こす機会にしたいと思います。

寺田就子 2016年10月

各位

謹啓 紅葉の候 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ギャラリーキャプションでは、11月19日より12月17日まで「寺田就子展 "オペラレッド"」を開催いたします。本展は、先ごろ行われた「あいちトリエンナーレ2016」にも参加し、旧明治屋ビルの場所性を活かしたインスタレーションが話題となった美術作家 寺田就子(てらだしゅうこ/1973年大阪府生まれ)の作品をご紹介しますので、当廊では2年ぶり9回目の個展となります。

寺田の作品の多くは、鏡やガラス、プラスチックなど、透明感と光の透過を感じさせる素材と、スーパーボールやビー玉、文具など、彼女が親しんでいる身の回りの既製品とを慎重に組み合わせることで成立します。そうして生じる鏡やガラスへの映り込みは、密やかでありながら、豊かな空間の広がりを感じさせます。また近年では、作品そのものだけではなく、光の反射と陰影が織りなす現象の現れ、ときに錯覚のような、その見え方を通じて、虚と実のわずかなあわいに、小宇宙を思わせる世界を表しています。

今年「あいちトリエンナーレ2016」の国際展という大きな舞台を経て、今後の展開への注目が集まるなか、本展ではあえて旧作を中心として、これまでの活動をふりかえります。

打合せの折、寺田は「自分にとっての制作を”何かを作ること”にまで広げて考えたとき、どこまで遡ってよいのか、迷っている」と言いました。幼いころから絵画教室に通い、小学生のころには「京芸(京都市立芸術大学)へ行く」と公言していた寺田にとって、作家としての原点は、大学でも初個展でもなく、もっと以前にあったのです。そして、彼女が何気なく口にしたのが本展タイトルである「オペラレッド」のエピソード。この「既製品を選ぶことは絵具を選ぶことと同じである」としたマルセル・デュシャンさながらのエピソードは、寺田にとって「選択すること」へのこだわりの片鱗が、幼いころからすでにあったことをうかがわせます。展示は寺田自身が「これまでに作ったもの」のなかから選んだ作品で構成されます。ここに選ばれたものから、作家の新たな視点と垣間見られる機会となれば幸いです。

お忙しいこととは存じますが、是非ご高覧賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具



「からっぽの水たまり」  
紙にデジタル出力、アクリル板、ガラス、プラスチック、他  
インスタレーションサイズ  
2009年



「記憶の環」  
分度器、プラスチック、鉛筆 2005年